

[講演 3] そうだったのか！？ コレステロールの薬の役割

須磨区薬剤師会

黒田 泰司

高脂血症(脂質異常症)は、サイレントキラーと呼ばれ痛みなど、これといった自覚症状がないため危険を自覚せず、知らないうちに進行し、ある日突然、命に関わる状態になる病気です。TV や新聞でよく聞くけど、自分には関係ないと思われている方もいるかもしれません。平成 26 年の厚生労働省調査では、206 万人の方が高脂血症で、男性は 40 歳代、女性は 50 歳代から増加傾向にあります。特に 50 歳以降の女性は約 2 人に 1 人が高脂血症と言われています。では、高脂血症にならないためにはどうすればよいかというと、基本は生活習慣の改善です。それでも改善されない場合や、合併症(糖尿病、血管障害など)がある場合は、薬を飲むこととなります。ただし、薬を飲み始めたからといって生活習慣の改善をしなければ薬の効果も半減してしまいます。

今回の講演では、高脂血症の薬の飲み方のポイントや薬を飲む目的など、疑問に思われていることをお話いたします。